

平成25年度
がん対策情報センター 患者・市民パネル
活動に関するアンケート結果

■回答期間

平成26年3月7日から平成26年3月31日

■対象者

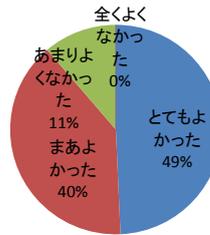
国立がん研究センター がん対策情報センター
患者・市民パネル 全100人

■回答者数

71/100人

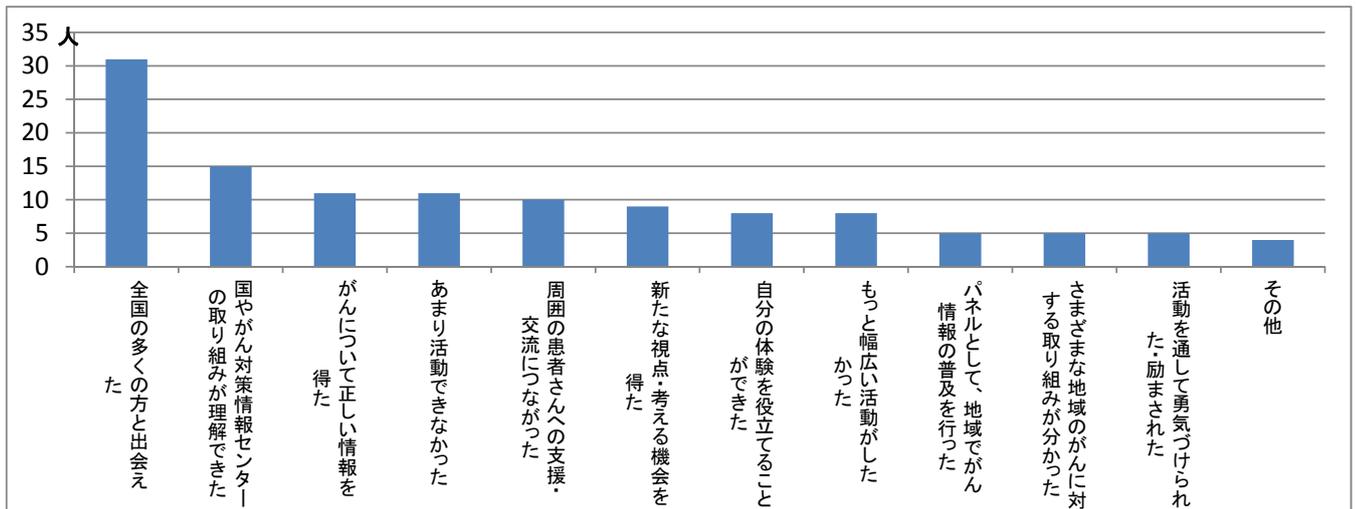
問1 患者・市民パネルに参加してよかったですか。(人)

とてもよかったです	35
まあよかったです	28
あまりよくなかったです	8
全くよくなかったです	0
合計	71



問1-2 どのような点がよかったですか。または、よくなかったですか。その理由について、具体的にお書きください。

●自由記述で多かった意見



■良かった点

●全国の多くの方と出会えた

・実際に全国のパネルの皆さんと顔を合わせてディスカッションできたこと。様々な生の声を聞く機会が地域格差や取り組みのアイデアについて発見があった。

●国やがん対策情報センターの取り組みが理解できた

・国として、どのように患者さん、そのご家族を支援しようとしているかを直接、肌で感じる事ができたので、参加させて頂いて良かったです。市民パネルの立場を活かして、もっと幅広い活動ができれば良かったと感じました。

●新たな視点・考える機会を得た

・アンケートに答えることやディスカッションに参加することをおして、メタな視点で私のがんを捉えることができ、そのことが生きる意味や私の役割を考える機会になったこと。

・全国の方と意見を交わすことが出来て、自分の考え方の幅が広がった気がします。また、がん対策情報センターの活動や研修会で全国でのがんの取り組みについて知ることができ、自分や周りの方の役に立てそうに思いました。そして、いろんな活動があることを知ることは、自分自身ががんと向き合い付き合う大きな励みになりました。

●自分の体験を役立てることができた

・自分の経験が少しでも役に立ててもらえる機会を得られたこと。

・仕事を辞めてから社会とのつながりが断られたような気持ちでしたが、パネルの活動に参加することで「自分にもできることがある」ということが分かり生きがいになりました。がんについての様々なことに意識が向くようになり、色々勉強させていただきよかったです。全国のパネルの方々や交流・情報交換できたことも自分の財産になりました。

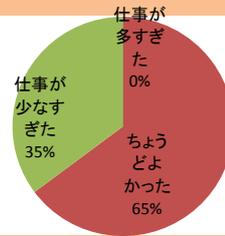
●活動を通して勇気づけられた・励まされた

・がん患者、その家族の方々の話が聞けて、勇気づけられ、自分もできる範囲でやれることをやろうと前向きに考えられたこと。

問2

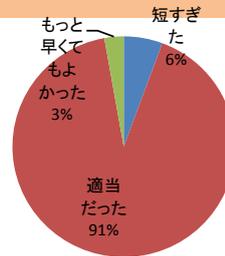
(1) 仕事量についてはいかがでしたか。(人)

仕事が多すぎた	0
ちょうどよかった	46
仕事が少なすぎた	25
合計	71



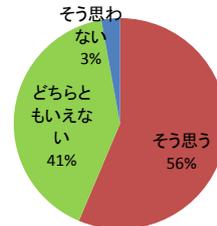
(2) お願いした内容の締め切りはいかがでしたか。(人)

短すぎた	4
適当だった	65
もっと早くてもよかった	2
合計	71



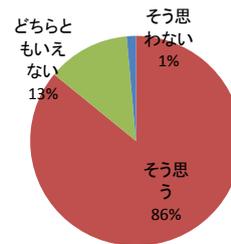
(3) 依頼された内容はやりがいのあるものでしたか。(人)

そう思う	40
どちらともいえない	29
そう思わない	2
合計	71



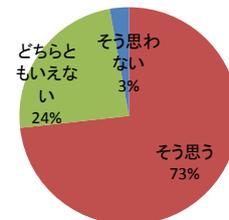
(4) 以前よりもがん対策、あるいは、がん対策情報センターの活動に関心がもてた。(人)

そう思う	61
どちらともいえない	9
そう思わない	1
合計	71



(5) 以前よりもがん対策、あるいは、がん対策情報センターの活動をもり立てたいと思えた。(人)

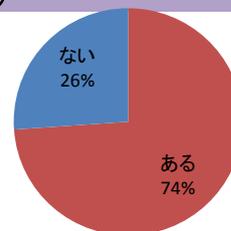
そう思う	52
どちらともいえない	17
そう思わない	2
合計	71



問3 事務局からお願いをした活動(原稿チェックや検討会への参加)以外で、がん対策情報センターが行っている活動について、周囲の人に伝えたり、情報を集めたりなど、この一年間でやったことはありますか？

(1) 地域や患者会で、患者・市民パネルに関連のある活動をおこなったことがある。(人)

ある	51
ない	18
無回答	2
合計	71



問3-1 どのような内容ですか。具体的にお書きください。

- ・地域の小中学校におけるがん教育の出前授業で、がん対策情報センターのチラシやホームページを説明をさせていただいた。地域の県や市が作成する、がん相談支援センターの窓口紹介カードやちらしの中に、がん対策情報センターを掲載いただいたとき、地域の調剤薬局など幅広く配布をした。
- ・企業研修会で、「知れば安心がん情報」などを配布し、紹介した。
- ・メルマガで、がん対策情報センターのサイトを紹介した
- ・患者サロンや患者会で、がん情報センターの存在及びサイトを紹介し「正しい情報はここにある」と大量にある情報の中で、信頼の出来る情報を選ぶ事を話した。
- ・患者会、地域の集会でがん対策センターの作成したちらし等を配った。あまり積極的な話はできなかったが、地域の中で治療に悩んでいる方がいるのは分かっていたので情報を伝えたかった。
- ・地元町内会の集まりで、患者・市民パネルの活動の概要を話した。